

さつま議会だより

令和2年2月6日発行 No.60



令和元年度各会計補正予算の概要…… 2P

条例の制定、廃止、一部改正、陳情…… 3P

常任委員会審査の概要…………… 4～5P

一般質問(9人)…………… 6～14P

決算特別委員会審査の概要…………… 15P

議会活動・議長の動静・編集後記…………… 16P

心を落ち着かせて!

(1月11日撮影)

《表紙紹介》

町教育委員会主催による、席書会の様子。小学3年生から中学2年生の児童生徒が、新年を迎えたすがすがしい気持ちで書に集中していました。

補正予算の概要

◆令和元年度各会計12月補正予算◆

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計	1億1,737万円	129億5,576万円
国民健康保険事業特別会計	22万円	30億7,760万円
後期高齢者医療特別会計	65万円	3億3,524万円
介護保険事業特別会計	4万円	35億5,922万円

※金額は千円単位を四捨五入 ※12/5に提出された補正予算

◆令和元年度各会計12月追加補正予算◆

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計	432万円	129億6,008万円
上水道事業会計	△475万円	4億2,328万円

※金額は千円単位を四捨五入

※12/25に追加提出された補正予算（人事院勧告に伴う人件費補正）

定例会のあらまし

«第4回（12月）定例会»

すべての議案を可決

12月5日から12月25日までの21日間の会期で開かれました。

条例廃止1件、条例制定1件、土地建物の譲渡条例の一部改正6件、各会計の補正予算などを慎重に審議し、提案されたすべての議案を可決しました。

老人保護措置費

100万円

養護老人ホームへの入所者数が増加したことによる経費です。



快適な入所生活が送れるように

養豚振興事業費

675万円

ASF（アフリカ豚コレラ）の侵入を防止するため、野生動物侵入防護柵を整備する9農場への補助です。



防護柵が設置される豚舎

災害復旧事業費

8,400万円

梅雨前線豪雨による農地や農業用施設、公共土木施設等災害復旧に要する経費です。

農地5件、水路3件、ため池1件、道路1件



田の畦畔が崩壊

開発振興事務費

4,329万円

土地開発公社から、東谷住宅団地の周回道路部分などを購入するための費用です。



東谷住宅団地（上空北側から撮影）

単独道路整備事業費

300万円

県道原口薩摩山崎停車場線の道路整備事業に伴う、町負担金10%です。



道路改良が待ち遠しい

屋地楽習館管理費

86万円

屋地楽習館図書室のエアコンが故障したことにより、新規購入するものです。



故障しているエアコン

条例

「我が町の法規を探る」

地方公務員法及び
地方自治法の一部
を改正する法律の
施行に伴う関係条
例の整備に関する
条例の制定

さつま町企業職員
の給与の種類及び
基準に関する条例
の一部改正

会計年度任用職員制
度の導入に伴い、会計
年度任用職員の休職期
間に関する規定の改正、
育児休業に関する規定
を設けることや常勤職
員と同様に旅費の支給
対象とすることなどを
整備するものです。

さつま町観音滻公
園条例及びさつま
町観音滻公園交流
センター条例の廃止

さつま町報酬及び
費用弁償等に関する
条例及びさつま
町立太陽福祉セン
ター条例の一部改
正

投票管理者や立会人
等の選挙に関する事務
に従事する者の報酬額
の改正や会計年度任用
の改正とともに併せて
することに伴い廃止す
るものであります。



廃止となる薩摩学校給食センター

さつま町立学校給
食センター条例の
一部改正

さつま町立薩摩学校
給食センターを4月か
ら廃止することに伴い
一部改正するものです。

さつま町長等の給
与に関する条例の
一部改正



おしどり団地に新たに完成した住宅
(手前の2棟4戸)

さつま町営住宅等
条例の一部改正

船木地区のおしどり
団地に新たに4戸完成
し20戸となることから、
戸数の改正をするもの
です。

さつま町職員の給
与に関する条例の
一部改正

◆用語解説◆
《会計年度任用職員》
非常勤職員の適正な任
用・勤務条件を確保する
ために、2020年4月
から制度化される。

人事院勧告に基づき、
町職員の給料表及び住
居手当の支給額・勤勉
手当の支給率を改正す
るものであります。

1件の陳情を審査しました

どうなつた！あなたの陳情

採択 保育料無償化に伴う副食費
負担に対応する陳情

◎陳情者

・さつま町柏原5183番地
さつま地区保育連合会会長

さつま地区保育連合会給食会長
友清 日出子
上原 雅代

堀 さつき

◇意見書

本陳情については、陳情の趣旨を「了」とし
て、全会一致で「採択すべきもの」と決定し、
次の1項目に関する意見書をさつま町長に申し
入れました。
一、世帯の収入状況に関わらず、全ての幼児
の健全な育成を図るため、副食費の助成を行
うべきである。

委員会付託された議案6件は原案可決！

- 条例の制定（1件）
- 条例の一部改正（1件）
- 令和元年度一般会計補正予算（第5号）関係分
- 令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 令和元年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

総務厚生

常任委員会審査

委員会審査の中で出された質疑、意見などの主な事項を掲載しています。

答 フルタイムは正規職員に準じた取り扱いとなり、パートタイムは幾分緩和される。

答 現在の一般職非常勤職員等の人数より削減し、200名程度とする差異は。【川口】

会計年度任用職員の雇用予定人数は。【田野】

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

報酬及び費用弁償等に関する条例及び町立太陽福祉センター条例の一部改正

投票管理者等の報酬額は金額を明記せず、基準額の範囲内とした理由は。【岩元】

答 休日や夜間の救急医療に対する補助であり、祝祭日の増加に伴い事業費も増加となつた。【川口】

緊急医療施設運営に係る共同利用型病院運営事業の内容は。【川口】

答 落札率は、84.7%である。【米丸】

一般会計補正予算（第5号）関係分

光プロードバンド基盤整備事業の計画内容は。【川口】



二次救急医療対応の薩摩郡医師会病院

答 フルタイムとパートタイムの服務に関する差異は。【川口】

答 総務省から無償貸付された消防車両一台の貸付制度の概要は。【上久保】

答 今年度5名増加し現在77名であり、措置費は一人当たり月額16万円から17万円程度である。【上久保】



無償貸付される同型の消防ポンプ自動車

委員会付託された議案4件は原案可決！

- ・条例の一部改正(3件)
- ・令和元年度一般会計補正予算(第5号)関係分

文教経済

常任委員会審査

委員会審査の中で出された質疑、意見などの主な事項を掲載しています。



水道管理人による水質検査

答 ハローワークを通じて募集し、面接を含めて選考しており、滞りなく欠員の補充ができている。

水道管理人に欠員が発生したときの対応は。

町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

【三浦】

答 職員は人事担当部署での対応となり、非常勤職員は1年契約であるので、宮之城センターと鶴田センターで同時にハローワークを通じて募集し選考していく。また非常勤職員は減になる計画である。

廃止後の職員等の配置はどうなるのか。

【三浦】

学校給食センター条例の一部改正



おいしい給食が出来上がる

答 農地・農業用施設が対象となり、農地は94.2%、農業用施設は98%の予定である。

6月下旬から7月上旬に発生した豪雨災害は激甚災害に認定されているが、農用地災害復旧費の補助率は。

【宮之脇】

答 国はウイルス持ち込み防止策と野生動物侵入防止策の2項目を重点に侵入阻止を図つており、町としては国の防止策に沿つて進めていく。

ASF（アフリカ豚コレラ）侵入防止緊急支援事業は、野生動物侵入防護柵のみの対策で十分か。

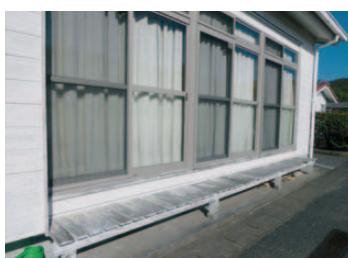
【森山】

一般会計補正予算(第5号)関係分

鉄道記念館の管理について、今後どのように考えているのか。

【新改(秀)】

答 永野地区と宮之城地区にあり、永野鉄道記念館は昭和62年ごろ建設され古くなっています。将来的には展示品など集約した管理を検討していきたい。



改修される濡れ縁



修繕される永野鉄道記念館

～議会活性化調査特別委員会～

11月28日に町内各団体から11名の方々に参考人として、議員定数、議員報酬、その他議会に関することについて意見の聴取をしました。今後は意見を参考にしながら検討します。

大会出場補助を見直せ

教育長／補助要綱の見直しを検討



新改 幸一 議員

青少年の健全育成とスポーツ振興・競技力の向上については、児童生徒や指導者の努力と活躍に対して、敬意を表し感謝している。補助金についてはスポーツのみならず文化活動・社会教育など現状に沿った補助要綱の見直しを検討したい。

学校の部活など、素晴らしい指導者の下で各種大会で優秀な成績を残している。九州大会・全国大会に出場するチームに対する出場補助率を上げる考えはないか。

答

全国の自治体に

職員に対して日々の行政サービスを目指して業務に励むよう訓示されているが、窓口サービスの課題を踏まえ、町民（家族）の窓口手続きなどを負担軽減を図るために、死亡手続きのご案内も手書きで示し、関係部署への案内も行っており、現状では難しいと考える。

般質問

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。

スポーツ振興基金新設を

町長／今は考えていない

さつま町初のプロ野球選手誕生を

ラフト会議で、さつま町初のプロ野球選手が誕生したことは、誠にめでたいことである。

個人から多くの支援を募り、各種大会出場チケットを助成してスポーツ振興を図る考えはないか。

先のプロ野球ドームを挙げて応援したい。スポーツ振興基金についても、これまでの補助額からしても、今このところ設置するまではないと考える。

答

全国の自治体に

さつま町初のプロ野球選手誕生を

ラフト会議で、さつま町初のプロ野球選手が誕生したことは、誠にめでたいことである。

個人から多くの支援を募り、各種大会出場チケットを助成してスポーツ振興を図る考えはないか。

先のプロ野球ドームを挙げて応援したい。スポーツ振興基金についても、これまでの補助額からしても、今このところ設置するまではないと考える。

窓口サービス

町長／現状での設置は難しい

お悔みコーナー設置を

職員に対して日々の行政サービス

おいてお悔みコーナーといつた名称で専用の

窓口を設ける動き

については、昨年

の決算特別委員会でも

質問があり、設置場所

や対応する人員など検討した。専用スペースの確保・人的配置・申請書作成補助のシステム構築など課題もある。

関係する職員が連携し

サービスに努めたい。

本は、町民ニーズが多様化する中、超高齢化社会を迎えるにあたり

「おもてなし」のサービスを効果的、効率的に提供していくことが求められている。更に

努力していく必要はな

いか。

答

お悔みコーナーについては、昨年

の決算特別委員会でも

質問があり、設置場所

や対応する人員など検

討した。専用スペー

スの確保・人的配置・申

請書作成補助のシス

テム構築など課題もある。

関係する職員が連携し

サービスに努めたい。



さつま町初のプロ野球選手誕生
《役場本町玄関ロビーに功績の数々を展示》



新改 秀作 議員

認知症対策

認知症施策大綱の対策は

町長／充実した取り組みを進める

答 2025年には5人に1人が認知症になると予想されている。町の総合振興計画の基本項目に基づいて、地域包括支援センター、医療機関等と連携をし、介護予防の取り組みや地域支え合い推進員等と連携を図りながら、充実した取り組みを実施する。

問

国の大綱で認知症対策が示されたが、本町の対策は。



ころばん体操で足腰強化



築46年経過している宮之城文化センター

文化施設

町長／建設基本計画を策定する

問 文化センター建設のプロジェクトの進捗状況はどうか。また、積立金の状況はどうか。現時点での着工はできないのか。

答 すでに9回会議を行い周辺への環境への影響、波及効果、防災等の観点から現地踏査も踏まえ、候補地、敷地の形状規模の検討

を行っている。積立金は7億円程になつていているが建設手法で大きく変動するので、状況を確認しながら進めている。

問 町内に美術館と呼ばれるところがない、新築予定の文化センター内に美術館を造る考えはないか。

答

町内外から寄贈のあつた美術品、工芸品等があり、現在、歴史資料センター、役場町民ホール等で展示している。今回の文化施設の建設にあたり、町民ホール的な役割も含め、ギャラリー的なスペースを検討していく。

問 町文化事業の見直しを
教育長／関係部署と連携し進める

問 町の文化事業の一端を担う、文化協会、文化懇談会等の助成金の見直しを行う考え方はないか。また、町の文化事業について、全般的な見直しを行う考え方はないか。

答 文化的活動をしている団体について

では、町として支援しているところであり、今後も引き続き助成していく。宗功寺の宮之城島津家墓所が国の文化財指定を受けることが決定したことから、歴史ゾーンの整備の進捗状況を考慮し、関係部署と連携して進めていく。

問 教育長／町民ホールも併せて検討する

包括業務委託の進捗は

町長／総合的な調整が必要



宮之脇 尚美 議員



委託先は地元も対象に

町長／地元業者も対象とする

問

問 包括業務委託の
相手方は、法人や
公共的団体等も含まれ
ると解する。したがつ
て地元の事業者等とも
意見交換等を行い、委
託業者の対象として考
慮すべきではないか。

答 昨年の9月議会でも指摘されてい
るが、地元業者とも意
見交換等を行い、対象
事業者として検討する
なお、直接役場で雇用
する非常勤職員よりも
経費がかさむため、委
託後もより一層行財政
改革を進めながら、行
政サービスの向上に努
めていく。

非常勤職員

会計年 形態は

町長／パートを主とした雇用となる

令和2年4月から関係法の改正でこれまで非常勤職

問 令和2年4月から関係法の改正により、非常勤職員の雇用形態が大きく変わることになっているが、適用される人員や予算規模、職種等はどのように見込まれているか

答 今回の法改正でこれまで非常勤職員は対象外だった身分保障や手当等を適用することになつてゐる。全体の非常勤職員をパートとして雇用する計画であるが、各種手当等を支給することでの全体では年間約5千万円が増額となる。

再任用職員の活用策は

問 役場を退職し継

問 役場を退職し継
続雇用している事
任用職員は、賃金も非
常勤職員と大きな格差
はないと思われるが、
今回の非常勤職員の制
度改正と併せ、処遇改
善や豊富な行政経験を活
かす手法を検討すべきではないか。

答

ここ数年で行政
経験豊富な多くの
職員が退職し、再任用
職員も増加してくる
今後職員や再任用職員
非常勤職員等の適正な
配置を行い、再任用職
員の技能と技術が發揮
できる環境を整え、行
財政改革の推進と効率
的な行政運営に努めて



森山 大 議員

農家民泊

グリーン・ツーリズムの現状は 町長／農家民泊を通して農家の 所得向上を支援

答
新規会員確保に
向けた取り組みを
進めながら、北薩広域
公園との連携や森林の
体験活動支援事業を活
用し、沢登りや竹細工
体験等のイベントの創
出に取り組んでいる。
本町の豊かな自然や文
化を体験し、少しでも
長く滞在してもらおう
「農泊」を通して、農
家の所得向上を担える
よう支援したい。

問
日本農村は少子・高
齢化と、グローバル化
が進んでいる。そうい
う中で、本町のグリ
ーン・ツーリズムの現状
と展開は。



地域おこし協力隊として、令和元年
10月1日から勤務の盛岡隊員
(情報発信の作業の様子)

問
地域おこし協力
隊とは、人口減少
や高齢化などの進行が
著しい地方において地
域外の人材を入れて、
定住・定着を進めるこ
とで意欲的に地域の活
性化を図っていくこと
を目的とした制度であ
る。協力隊の現状と活
用策の考えはないか。

答
地域おこし協力
隊員として現在2
名が活動している。き
ららの楽校で施設P
Rやイベント企画実施、
町観光特産品協会の情
報発信などを担っている。協力隊員など町外
から人材を受け入れ、
活動に取り組むには十分な準備が必要であり、
行政・地域・隊員一体
となり、様々な分野で
協力隊制度が活用でき
るよう進めていきたい。

地域活性化

町長／2隊員の活動を支援

協力隊の現状と活用策は

◇議会傍聴へお越しください◇

- 日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。
- 鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット（YouTube）で、本会議の中継を視聴することができます。
- 次回は3月2日開会予定です。



議会情報を満載

《さつま町ホームページ》
<http://www.satsuma-net.jp>

トップページの下の画面
から議会情報をご覧にな
れます。

さつま町議会



The screenshot shows the official website of Satsuma Town. The main navigation bar includes links for 'ホーム' (Home), 'くらしの情報' (Information about life), '町の情報' (Information about the town), '観光情報' (Tourism information), and '農林業商工業' (Agriculture, Forestry, and Industry). A sidebar on the left lists various assembly-related links, with 'ライブ中継' (Live Stream) highlighted by a red box and a hand cursor icon pointing to it. The central content area features a large image of four seasons (春, 夏, 秋, 冬) and a section titled '議会からのお知らせ' (Announcements from the Assembly) with text about the 30th Assembly Session.

行政改革

財政改革と返済計画は

町長／可能な限り軽減



舟倉 武則 議員

答

借入額を抑制しない限り、残高が減少しないことは当然であり、今後も、将来への負担を可能な限り軽減させ、引き続き公債費負担適正化計画等に基づいた取り組みをする。また、地方債と財政調整基金の均衡を図り、持続可能な財政運営を行っていく。

観光政策

問

町長／交流人口の拡大に努める

観光振興による交流人口は

答

交流人口の拡大を図つていくには、これまでの特色ある観光資源を町内外の広い範囲に、効果的に広報・宣伝する必要がある。効果的に情報発信をしながら、交流人口の拡大に努める。



多くの高校ラグビーチームが夏合宿に来町

適正な職員数は

町長／定数管理に取り組む

本町の人口減は急激に進んでいる。

パソコンなどが普及し、IT化も進んでいる。この様な現状を鑑み、計画的に検討する必要があるのでないか。

将来人口の動向や国の指導などに留意しながら、正規職員だけでなく、関係職員全体での定数管理を行っていく。総数を意識し、総合的に判断し現状を十分に見極め、時代の要請に見合った見直しに、慎重に取り組む。

今年、ラグビーワールドカップで盛り上がり、来年は、さつま町で国体のラグビー競技が開催される。

町者のお土産品として、さつま町の銘菓「トライ饅頭」を商品開発したらどうか。

提案のあつた件については、名前の商標登録の関係もあるが、町商工会や観光特産品協会等の町内のお菓子屋などに「トライ饅頭」または「トライ〇〇」といったネーミングのお土産品になるお菓子の商品化について、機会を捉えて紹介したい。

特産品の開発は

町長／お土産品として商品化

本町には、様々な伝統行事がある。

これまでの特色ある観光資源を町内外の広い範囲に、効果的に広報・宣伝する必要がある。効果的に情報発信をしながら、交流人口の拡大に努める。

提案のあつた件については、名前の商標登録の関係もあるが、町商工会や観光特産品協会等の町内の

問 借入金は、最終的にどれくらいまで減らす考えか。

将来への負担を可能な限り軽減させていくためにも、町

地
方
債
残
高
の
最
終
減
額
は

町長／減額に努める

本町の地方債残高と今後の返済計画について。また、財政調整基金積立金を最小限にとどめ、地方債残高を減らす考えは。

将来への負担を可能な限り軽減させていく。

民福社の向上を第一に、計画的なインフラ整備等による地域経済の均衡ある発展も考慮した財政運営に取り組んでいく。



川口 憲男 議員

行政改革

町民サービスなど大丈夫か

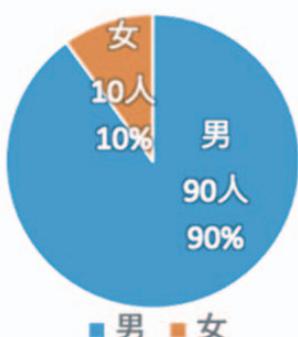
町長／職員削減の影響はない

答 合併後の行政については、定数削減と関係経費の削減が主な柱であった。職員定数はもとより議会や各種行政委員会、大きな改革を実施、そのため、地域担当職員を創設しコミュニティ事業の応援、支援を進めてきた。また事務事業のバランスを図りながら進めていく。

問 行革で職員数が減ることで町民サービス、地域のコミュニティ力の低下が懸念される。地域の活性化には役場職員の力は非常に貴重なものがあるが、どのように考えるか。

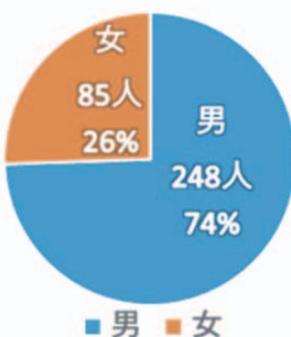
職員区分	区分	男	女	計
管理職的役職	課長級	28	1	100
	課長補佐級	29	2	
	係長級	33	7	
一般職	一般職	158	75	233
合計		248	85	333

管理的役職職員男女構成



さつま町職員の構成

職員男女構成



問 管理職の構成はどうな状況か。
県庁、他市町村の行政機関では多くの女性職員が登用されているが、町長は女性の管理職へ登用をどのように考えるか。

答 女性の管理職への登用は、課長1名、課長補佐2名、係長7名となっている。女性の登用には目標を定め取り組んでいるところである。優秀な職員は男女を問わず登用すべきであると考える。

女性の管理職登用は町長／積極的に登用

次期行政改革の取り組みは町長／将来を見据え策定

問 次期行政改革大綱の取り組みが示されると思うが、行財政改革推進と地域力向上は、大事であると考える。どのように推進していく考え方。

答 第4次行政改革大綱は、第3次を継承しつつ、A I・R PAといった革新的技術を活用した業務環境の改革やP F Iの積極的な活用、光ブロードバンドの整備による地域振興策の取り組みなど、将来のさつま町を取り巻く環境を想定しながら策定する。

◆用語解説◆

『A I』

言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピューターに行わせる技術。

『P F I』

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力や技術的能力を活用して行う手法。

『R PA』

ロボットによる業務の自動化をするシステム。事務作業などの頭脳労働の間接作業を主に自動化する。

『光プロードバンド』

光ファイバーケーブルを用いた、高速で大容量の情報が送受信できる通信網。

交通安全

子ども達の安全管理は

町長／事故防止策と安全指導

問

高齢ドライバーによる運転操作ミス、運転手の不注意による暴走事故等、子ども達が交通ルールを守っていても危険な場合がある。保育園と学校の交通安全教育と園外や校外活動の集団移動時の安全管理について検討すべきではないか。

答

(町長) 国から指導があり、9月に町内の保育園に呼びかけ、警察署、道路管理者と合同で危険箇所の点検を実施した。通学点検を実施した。通学園のルート変更、交通規制の対象になるものもあると思う。



柏木 幸平 議員

答 (教育長) 各学校では、交通安全教育を実施し事故防止についての体験をしながら繰り返し指導している。体験型や保護者参加の交通安全教育は効果的であるので、各学校で取り組むよう指導していく。また、園外や校外活動は、引率者を多くし安全管理に努めるよう指導している。

問
宮之城中学校の生徒504名のうちバス通学は192名である。下校時の屋地仲町バス停付近では、国道の両側にバスが複数停車し、通行車両の渋滞や交差点と横断歩道もあり、危険な状態である。改善の考えはないか。

答
下校時と同じ時間帯に車両が道路の両サイドに停車することへの対策を検討する必要がある。停留所の場所や発着時刻を変更する方法などが考えられる。学校、保護者、関係機関との協議が必要となるため、一定の期間を要すると考える。



夕方の屋地仲町バス停付近の様子



バス通学生の安全対策は 教育長／一定の期間を要する

問

全国的に児童虐待の事案が発生し、身近な所でも起きている。鹿児島県や県内の自治体においては、虐待防止対策が取られている。さつま町内での事例はないものか。また、関係機関との連携など、対応は十分か。

答

(町長) 本町の児童虐待は、平成26年度から平成30年度まで10件発生。本年度は11月現在、児童相談所への通報が1件発生している。児童相談所、さつま警察署と連携し、DV被害者の避難や母子生活支援施設への入所など緊急に対応している。

虐待防止

児童虐待防止の対応は

町長／関係機関と情報を共有

問

答 (教育長) 教職員が児童生徒の観察や対話で早期発見に努め、疑われる場合は迅速な報告をし、連携して対応にあたるよう学校に指導している。今後も学校や子ども支援課をはじめ、児童相談所等、関係機関との連携を図り迅速な対応に努める。



田野 光彦 議員



学校改革

コミュニティ・スクールについて

教育長／他の学校にも導入の計画

問

コミュニティ・スクール導入のコ

ンセプトは何だったのか。また、導入している佐志・山崎小の2校と統廃合によって生まれた柏原・盈進小の2校や導入してない他の6校との差異を現状でどのように捉えているか。

答

コミュニティ・

スクールは、「地域とともににある学校づくり」を進めるための仕組みである。今後、他の学校にも導入する計画である。2校から地域とともにある学校づくりがさらに進んでいくものと期待している。

問

地域創生のため
にもコミュニティ

・スクールは必要である。また、小学校から中学校へ進む際に生ずる中1ギャップの問題を防止するためにもカリキュラムと連動した小中一貫教育が必要と考えるがその対策は。

小中一貫教育の導入は 教育長／スマーズな進学に努める



コミュニティ・スクール連絡協議会の様子（佐志小学校）

答

本町では県の中一貫教育及びコミュニティ・スクールは必要である。また、小学校から中学校へ進む際に生ずる中1ギャップの問題を防止するためにもカリキュラムと連動した小中一貫教育が必要と考えるがその対策は。



計画的に街路樹の作業が進められる

問

本町は3本の国道が通り、町外か

らの人や車の往来も多いが、街路樹のツツジ、サクラ、サルスベリ等は、周りに雑草が生えて手入れがされていない。どこがどのように管理しているのか。

答

町内の国・県道の街路樹は、北薩地域振興局で維持管理を行つており、総合的に勘査して順次作業を実施しているとのことである。町道は民間業者等の協力を得て管理している。町道は民間業者が長いことから作業が追いつかない状況である。

道路管理

街路樹等の維持管理は

町長／可能な限り対応していく

DMO事業の成果は

町長／ソフト事業を推進中



三浦 広幸 議員

問

日本版DMO候補法人「株やさし

いまち」が、観光地域づくりのかじ取り役として、伊佐市の曾木の滝公園では薬草の杜、薬草の館を運営し、さらに古民家風レストランも整備中である。さつま町に関係した事業と成果は何か。

答

各種旅行イベントでの伊佐・さつまの観光宣伝・プロモーション、商談会を行い、旅行社等への認知度向上に繋がっている。アウトドア爱好者へのPR宣伝として、数十万人の会員がいる「モンベルフレンドエリア」に登録して、プロモーション活動を行っている。

問 平成31年3月に

県内では初めてとなる鶴田ダムナイト「デジタル掛け軸」が開催され、多くの見物人が来た。DMOの目的である町外からの来訪者は把握しているか。

答 多数の来訪者のうち鹿児島市など町外からが約75%を占め、情報発信と観光資源としての認知度が高まつた。継続開催をお願いしているが、今後多額の事業費を要する観音滝公園整備も予定されており、DMO事業が軌道に乗り、運営が安定することで開催の機会があると考える。

答

「株やさしいまち」へ行政からの補助金は本年度で終了予定である。来年から自前で資金調達し、自立するDMOになるが、今後のDMO事業の推進体制とサポート体制はどうなるのか。

答 本年度で終了は、補助金について支援・協力を継続して行きたい。

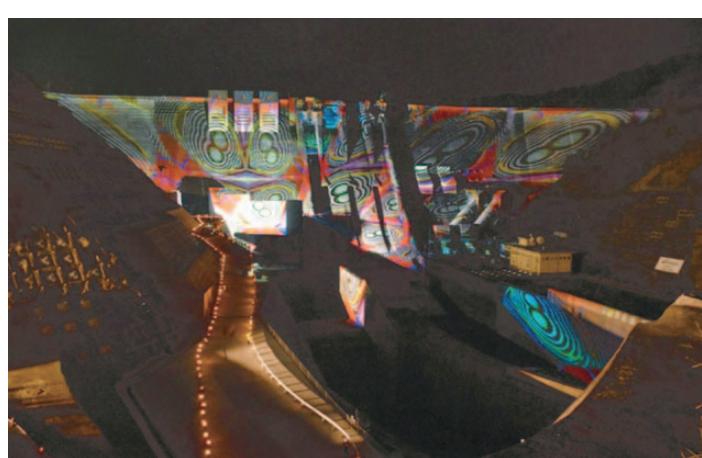
する。しかし、全体的な観光推進を図るうえからも、関係機関団体が連携・協力しながら、今後も推進していく必要がある。関係団体で構成している「川内川を活用した自然体験型DMO推進協議会」については、継続して支援・協力をして行きたい。

問 モンベルフレンドエリアプロモーション活動に毎年約65万円の支出があるが、モンベルフレンドエリアとはどのようなサイトか。そのウェブサイト閲覧者からの感想や意見は届いているのか。

問 商工観光PR課長／観光紹介の情報発信サイトトドアの総合ブランドのウェブサイトで、川内川のボタル舟や、温泉、薩摩切子、焼酎など地域の特産品等を紹介している情報サイトである。これらを通じ観光地としての認知度が向上している。意見感想は、現時点で把握していない。

答

DMOのサポート体制は町長／継続して支援・協力する



県内初のデジタル掛け軸（鶴田ダム）

問 商工観光PR課長／観光紹介の情報発信サイトトドアの総合ブランドのウェブサイトで、川内川のボタル舟や、温泉、薩摩切子、焼酎など地域の特産品等を紹介している情報サイトである。これらを通じ観光地としての認知度が向上している。意見感想は、現時点で把握していない。

答

モンベルはアウトドアの総合ブランドのウェブサイトで、川内川のボタル舟や、温泉、薩摩切子、焼酎など地域の特産品等を紹介している情報サイトである。これらを通じ観光地としての認知度が向上している。意見感想は、現時点で把握していない。

平成30年度の決算を認定

適正に計画的かつ効率的に執行されたか！町民にとっての事業・行政効果は！

さつま町歳入歳出決算（一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、農業集落排水事業特別会計）

さつま町上水道事業会計決算

答 平成30年11月に検討委員会を設置しこれまでの経過に基づいて課題整理し、その後プロジェクトチームを行っている。今後はアンケート調査などを行い、町民の方々の意見を反映させていきたい。

新しい文化施設建設の検討委員会での協議内容は。

審査の内容を一部掲載します。

行い、12月5日の本会議において決算特別委員長の報告のとおり、いずれも認定しました。

つま町歳入歳出決算及び上水道事業会計決算について慎重に審査を行なった結果、7日までの日程で、さつま町歳入歳出決算審査は10月2日から

委員会では、委員長に上園一行議員、副委員長に岩元涼一議員が選任されました。

審査は10月2日から

長に岩元涼一議員が選任されました。

審査は10月2日から

が付託された8人の委員で構成する決算特別委員会では、委員長に上園一行議員、副委員長に岩元涼一議員が選任されました。

第三回定期会の最終日（9月27日）に審査が付託された8人の委員で構成する決算特別委員会では、委員長に上園一行議員、副委員長に岩元涼一議員が選任されました。

第三回定期会の最終日（9月27日）に審査が付託された8人の委員で構成する決算特別委員会では、委員長に上園一行議員、副委員長に岩元涼一議員が選任されました。

答 平成28年度に3地区での説明会実施から時間が経過しているため、今後は将来における児童数の推移などの情報提供や再編に対する考え方を伺う機会を設定したい。



せり市の様子（薩摩中央家畜市場）

子牛せり市購買者対策事業が終了したことでの影響は。

事業実施により、県外購買者がある程度定着してきており、価格が低下しても購買者数は極端に減少しておらず、一定の事業成果があつたと分析している。

◆要請◆
高齢化などにより管理できなくなつた場合など、近隣所有者に委託できるような管理体制づくりを検討するよう要請する。

地域幹線バスの年間利用者数と負担金額は。

答 大口・針持・宮之城線は、運行回数1日

答 以前は薩摩郡医師会において県外を含めて働きかけをしており、個人情報保護の関係で働きかけが困難な面もあるが、今後も薩摩郡医師会と連携を図つていきたい。

町長 これまで各種研修を実施しており、専門的な分野も含め今後も継続して研修を進めていくなかで、研修のあり方を見直す必要がある。



利用増が期待される幹線バス

荒廃竹林を筍生産林に改良したその後の管理は。

荒廃竹林を筍生産林に改良したその後の管理は。

当たり4・6回、平均乗車密度は7・8名、空港バスはそれぞれ12回、3・7名で、町の負担金額は毎年度の収支により変動する。

債権管理条例等の制定は。

町長 条例制定は進めているがまだ提案に至らない。公金としての扱いは非常に重要なことであることから、納入が原則と思っている。

【決算特別委員】
上園、上久保、柏木、田野、岩元、岸良、宮之脇、川口

議會活動



富山県朝日町(10/29)、熊本県甲佐町(11/19)、群馬県富岡市(1/24)の行政視察を受け入れました。



町商工会役員との懇談会 (11/22)



国土交通省及び財務省主計局において、北薩空港幹線道路整備促進期成会による中央要望と併せて、国道504号さつま町・出水市区間改良整備促進議員期成会の要望活動を行いました。(11/26)

全国町村議会議長会表彰



全国町村議会議長会
創立70周年記念表彰規
程に基づき、町村議会
議員として30年以上在
職し功労のあつた、前
さつま町議会議員、東
哲雄さんが表彰を受け
られました。

議会広報特別委員会

さて、12月議会は9名の一般質問者があり、各議員が積極的に議会活動に取り組んでおりました。昨年は議会活性化を図る必要があることから1000人の町民の皆さんにアンケート調査や、各分野の参考人の皆様に議員定数、議員報酬等についてご意見をお伺いしました。本年3月議会で結論を出す予定です。

次の選挙には多くの立候補者がいることを期待し、活発な議会活動を開催し、町民の皆さんへの負託に答える議会を目指したいと思います。

町民の皆様にはご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年開催される東京オリンピック、パラリンピックでの日本勢の活躍を期待します。また、国体は鹿児島県で行われ、さつま町のかぐや姫グラウンドでラグビーフットボール（少年男子）が開催されることになつており大変名誉なることで、鹿児島県勢の活躍を願うばかりです。

編集後記